

# 15 チャレンジデー 2019

CHALLENGE DAY

5月29日、市民総参加型の健康づくりイベント「チャレンジデー」が行われました。このイベントは毎年5月最終水曜日に、午前0時から午後9時までに継続して15分間運動を行った住民の参加率を人口が同規模の自治体と競い合います。今年の出戦相手は、ひょうたんの町として親しまれている神奈川県大井町でした。



当日は、メイン競技の市民交流グラウンドゴルフをはじめ、ウォーキングやラジオ体操、太極拳交流会などが行われました。また、市内のスポーツクラブでは、スロートレーニングや卓球、ソフトバレーボールなども行われ、参加者が汗を流しました。今年で9回目の参加となる仙北市の参加率は、50.4%（参加人数13,292人／人口26,375人）、今年で5回目の参加となる対戦自治体の神奈川県大井町の参加率は、41.9%（参加人数7,237人／人口17,292人）となりました。市民の皆さまには、たくさんのご参加をいただきありがとうございました。

## 市民総参加で健康づくり

### 選手宣誓



角館グラウンドゴルフ協会の星宮忠清さんの力強い選手宣誓により、大会の幕が開きました。

### 太極拳



太極拳かくのだてによる武術太極拳交流会が行われ、約40人が参加しました。一つひとつの動作をゆっくりと丁寧に、とてもリフレッシュした様子でした。

### 苗植え



白岩小学校では、全校でサツマイモの苗植えを行い、体を動かしました。

### グラウンドゴルフ



青空のもと、参加者約140人は日頃の練習成果を試すとともに、参加者同士がグラウンドゴルフを通じて交流を深めました。

### ウォーキング



落合球場周辺約2.5kmを35分かけてウォーキング。朝の空気を吸いながら気持ちよさそうに歩いていました。

## 市長の まちづくり No.152 日記

### 『田んぼや畑が日本を救う』

仙北市長 門脇 光浩

以前、秋田大学で経済学を専門とした島澤諭先生が、久しぶりに田沢湖庁舎を訪ねてくれました。先生は現在、公益法人・中部圏社会経済研究所(名古屋)で、地域力指数や幸福度指標の研究をしています。いま注目度の高い領域です。そのお話の概略をお知らせします。

「自治体の何が人を集めるのか、逆に人が離れるのか、その要因を分析しています。また何人の労働力があれば、自治体は何人を支えることが可能か、それでは自治体は維持できるか、なども研究テーマです。ザックリといえば、人口減少を前提とした幸せの在り方、姿みたいなものを明らかにしようという研究です。分析は実態把握が基本ですから、それでアンケート調査をしました。そうしたら、地域の魅力要素として4割の方が貨幣価値(所得とか雇用状況とか)を、半数以上の6割の方が非貨幣価値(自然環境とか教育文化とか)を考えていることがわかりました。以前にあった同様のアンケートとは大きく様変わりしました。人も社会も価値観もどんどん変わって

まわっています。今のところ、

「団塊世代の皆さんが後期高齢者になれば(2025年)、介護や医療費など社会保障費が急増します。全国の自治体が健康寿命日本一を目指す理由はここにあります。若い年齢層は絶対数が不足で支え切れませんから。でも、健康な高齢者だったら、体が動くうちは生産活動に従事できます。そして多くの皆さんは、自然の中で土をいじって、食べ切れない野菜は直売所に持って行くとか、そんな生活がしたいと思っています。農作業で得られる実益と潤いは、社会保障費の削減に寄与し、自治体の地域力や幸福度を左右する要因になるでしょう。さらに仙北市は観光ブランドあり、新幹線あり、空き家ありで、農地を活用した移住・定住対策は、今後の目玉商品になる可能性が大きいと。

仙北市では、今まさに高齢層の健康増進、温泉と医療のヘルスケア事業、多世代従事農業と未利用農地の高度活用などに取り組んでいます。でも、田んぼや畑が持っている多様な機能自体が、故郷を、いえ日本を救うんだと、改めて気づ

いたお話しです。

## かくのだてフィルムコミッション ロケーションだより Kakunodate Film Commission

かくのだてフィルムコミッション (仙北市観光課内) ☎43-3352 <http://kakunodate-fc.jp/>

木々の緑が鮮やかな季節です。仙北市を紹介する番組のロケ隊も多く訪れています。

5月25日には秋田朝日放送の県内情報番組「サタナビっ!」のコーナー「いま☆ココ」が武家屋敷通りから生中継で放送されました。番組をご覧になった方も多いのではないかと思います。今回は生中継ということとでいつも以上に緊張感がありました。普段のロケ支援では、撮影された映像が編集され、後日公開されますが、撮影と公開がその場で完了する生中継では、事前の打ち合わせやロケハンがとても大事です。失敗や撮り直しが許されないので、入念な計画と準備をし、それに沿って実行することが重要です。当日は大がかりな中継車などを想定していました

が、意外に小さな簡易中継システムで中継ができることに驚きました。生中継の際には武家屋敷周辺のお店の方々にもご協力いただき、撮影もスムーズに運ぶことができました。かくのだてフィルムコミッションのスタッフも番組に出演。アナウンサーの真坂はづきさんとふたりで情緒ある街並みを紹介し、無事に撮影を終えることができました。今回は県内での放映ということもあり、番組を見てすぐに「行ってみよう」と思い立った人もいるかもしれません。地域の皆さんの協力を得てさらに地域活性化につながることを期待します。

(会長 坂本 洋)



「サタナビっ!」撮影時の様子。